

中京テレビ杯

令和元年度秋季第74回東海地区大学(女子)ソフトボールリーグ戦

会期：9月28・29日、10月5・6日

会場：愛知県高浜市／碧海グラウンド・流作グラウンド

I 部リーグ戦

チーム	中 京	東海学園	星 城	中京学院	常 葉	日本福祉	勝	分	敗	順 位
中 京	● 3 - 4	○ 5 - 2	○ 3 - 1	○ 8 - 0	○ 7 - 0	4	0	1	2 位	
東海学園	○ 4 - 3	● 0 - 5	○ 5 - 0	○ 3 - 0	○ 5 - 2	5	0	0	優勝	
星 城	● 2 - 5	● 0 - 5	○ 1 - 0	○ 15 - 0	● 2 - 3	2	0	3	3 位	
中京学院	● 1 - 3	● 2 - 9	● 0 - 1	○ 7 - 0	○ 6 - 5	2	0	3	4 位	
常 葉	● 0 - 8	● 0 - 3	● 0 - 15	● 0 - 7	● 0 - 2	0	0	5	6.位	
日本福祉	● 0 - 7	● 2 - 5	○ 3 - 2	● 5 - 6	○ 2 - 0	2	0	3	5 位	

※3～5位は失点率による。

II 部リーグ戦結果

予選A	至学館	愛知教育	名古屋	中部学院	勝	分	敗	失点率	順位
至学館	○ 15 - 0	○ 16 - 0	○ 9 - 1	3	0	0	-	1 位	
愛知教育	● 0 - 15	○ 12 - 1	○ 10 - 3	2	0	1	-	2 位	
名古屋	● 0 - 16	● 1 - 12	● 0 - 11	0	0	3	-	3 位	
中部学院	● 1 - 9	● 3 - 10	○ 11 - 0	1	0	2	-	-	

予選B	岐阜協立	岐阜聖徳	静岡	勝	分	敗	失点率	順位
岐阜協立	○ 2 - 1	○ 10 - 1	2	0	0	-	1 位	
岐阜聖徳	● 1 - 2	○ 12 - 4	1	1	0	-	2 位	
静岡	● 1 - 10	● 4 - 12	0	0	2	-	3 位	

II 部順位決定予備戦 岐阜聖徳学園大学 9 - 0 愛知教育大学 静岡大学 17 - 1 名古屋大学

II 部順位決定戦 1 位 決定 戦 岐阜協立大学 2 - 1 至学館大学

2～3位決定戦 至学館大学 1 - 0 岐阜聖徳学園大学

4～5位決定戦 愛知教育大学 11 - 0 静岡大学

6～7位決定戦 中部学院大学 10 - 0 名古屋大学

※中部学院大学は一時移籍制度利用のため順位は付かず、名古屋大学が6.位

I・II部入れ替え戦

日本福祉大学(I部5位) 7-4 至学館大学(II部2位) ※日福大はI残留、至学館大はII部残留
常葉大学(I部6位) 0-2 岐阜協立大学(II部1位) ※岐阜協立大はI部昇格、常葉大はII部降格

個人表彰選手

最優秀選手賞：飛弾 優里(東海学園大)

I部首位打者賞：安田優莉音(中京大)

記録6割1分5厘

I部打点賞：飛弾 優里(東海学園大)

記録6

I部本塁打点賞：該当者なし

I部盗塁賞：澤田 望愛(東海学園大学)

記録4

I部最優秀防御率賞：坪野 三咲(中京大)

記録0.00

II部優秀選手賞：山田 実空(岐阜協立大)

II部首位打者賞：天野 優希(至学館大)

II部優秀防御率賞：山崎真梨音(至学館大)

ベストマネジメント賞：田伏 菜央(静岡大学)

ベストマーケティング賞：佐伯 柚葉(日本福祉大)

I部ベスト10：

投手 藤本 恵未(東海学園大)

捕手 藤井 杏朱(日本福祉大)

一塁手 原 磨海(東海学園大)

二塁手 竹井 朱美(中京学院大)

三塁手 川口 茉菜(中京大)

遊撃手 近藤 奈々(中京学院大)

外野手 高田有実香(東海学園大)

外野手 安田優莉音(中京大)

外野手 澤合 華奈(中京学院大)

D P F P 松島 未来(星城大)

II部プリンススポーツベストプレイヤー賞：

岐阜経済大学：中村 千夏

至学館大学：花井 瑠妃

岐阜聖徳学園大学：伊藤 紗季

愛知教育大学：近藤 史菜

静岡大学：沖野 知夏

名古屋大学：矢口 菜摘

中部学院大学：東 英利奈

講評 新しい時代、令和元年度初の秋季女子リーグとなった今大会も、平成の時代と変わらず愛知県高浜市の碧海グラウンドと流作グラウンドで開催させていただけたことに心から感謝申し上げます。

今季リーグ戦は、春のリーグ戦で初の10戦全勝優勝を果たした中京大に二強の一角、東海学園大と選手層の厚い星城大、経験豊富な中京学院大が食い下がるかに注目が集まった。中京学院大は二強に土をつけることはできず、また初の三位をかけた星城大との戦いに0-1で破れ、4位を死守するに留まった。また星城大は、4年生が抜けた穴を選手層でカバーしたものの二強には勝てず、3位。注目の二強対決は、お互い守備のミスが目立ち3-3でタイブレイクに突入、最後は東海学園大の打力が上回り、サヨナラ勝ちで東海学園大が優勝を果たした。今季も二強の壁は厚かったと言える。5位の日本福祉大は、勝ち数こそ3位の星城大、4位の中京学院大と変わらずの2勝3敗であったが、失点率の差で5位となり入れ替え戦に回った。

II部リーグ戦は予想通り、I部で戦う力があると思われる岐阜協立大・至学館大・岐阜聖徳学園大の3強の争いとなった。協立×聖徳と協立×学館の対戦は2-1、学館×聖徳は1-0という1点差の僅差の争いであった。チーム力は紙一重の差であったが、結局、協立、学館、聖徳の順となった。なお、春季棄権した中部学院大は、一時移籍制度を利用して復帰して健闘した。

入れ替え戦は、日本福祉大が難敵至学館大に先制されながらも逆転でI部を死守した。I部6位となった常葉大は、終始明るく前向きにプレイしたが、I部に留まることができず、昨季降格した岐阜協立大に敗れて入れ替えとなった。降格2チームの奮起を期待したい。(理事長 二瓶雄樹)